

はぐくもう！デジタル・シティズンシップ

ネットリテラシーの育成に向けた協議会

【秋田市PTA連合会 秋田市小・中学校長会 秋田市教育委員会】

※1

「デジタルネイティブ宣言」は、子どもたちにデジタル・シティズンシップ^{※1}がはぐくまれるよう、令和4年の中学生サミットにおいて、インターネットやSNS等の主体的な活用のあり方をまとめたものです。

「デジタルネイティブ宣言」をもとに、ご家庭でも子どもと一緒にICTとの関わり方について話し合ってみましょう。

※1 デジタル・シティズンシップ：裏面を参照ください。

秋田市中中学生サミット デジタルネイティブ宣言

相手を尊重した使い方をします

- ・友達とやりとりするときは、相手を傷つけない言葉遣いを心掛けます。
- ・やりとりをする時間や頻度について相手の立場になって考えます。

自分に誇りをもてる使い方をします

- ・情報の真偽を確かめ、適切な情報を選択します。
- ・情報を発信する際は、自分の言葉や内容に責任をもちます。

自分の健康を第一に考えます

- ・休養や睡眠時間をしっかり確保し、生活リズムを整えます。
- ・SNSと上手に付き合い、心と体の健康を大切にします。

家族で話し合おう②

困ったときは周りの人に相談します

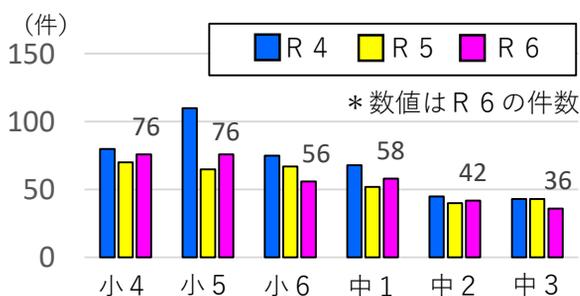
- ・一人で悩まず、家族や先生など身近な大人にすぐに相談します。
- ・周りに困っている友達がいたら進んで声をかけます。

家族で話し合おう①

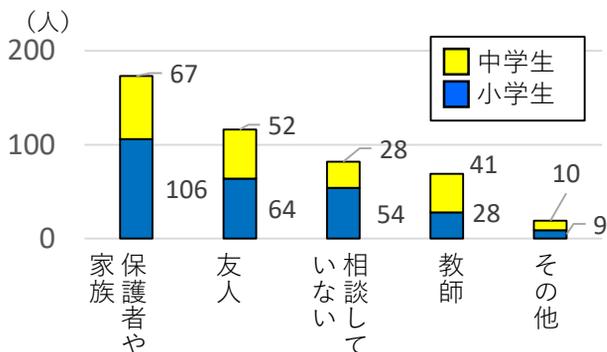
家族で話し合おう①

困ったときは周りの人に相談します

【トラブルや被害にあった児童生徒数】



【トラブルの際に相談した人 (R6)】



【スマートフォン等、インターネット利用実態調査（県調査）より】

多くの子どもにとってインターネットやSNS等の利用は日常生活の一部となっています。

そうした中、上のグラフのように毎年、トラブルや被害にあっている子どもがいます。

また、被害にあっても誰にも相談していない場合があります、その割合は小学生の方が高くなっています。

ネットトラブル等の対応について、親子で話し合う機会を持ってみましょう。



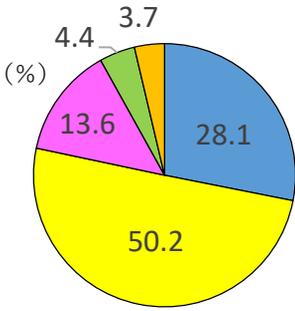
トラブルや被害にあわないために

します。

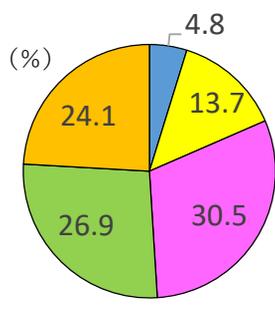
トラブルが起きたら

します。

[平日の家庭でのインターネットの利用時間 (R6)]
* 中1～中3



[学習での利用]



[学習以外での利用]

■ 利用していない ■ 1時間未満 ■ 1～2時間
■ 2～3時間 ■ 3時間以上

[スマートフォン等、インターネット利用実態調査 (県調査) より]

インターネットは生活をよりよくする便利なツールですが、長時間の利用などによる健康への影響も配慮することが大切です。

適切に休憩時間をとるなど、子どもと一緒に健康を考えた利用について話し合ってみましょう。

自分に合った利用時間は？

利用時間を決めることの他に、健康面を考慮できることは？



【情報機器の利用に関連する心身への影響】

1 身体への影響

- ・眼精疲労
- ・ドライアイ
- ・ストレートネック
- ・肩こり
- ・運動不足
- ・睡眠不足 等

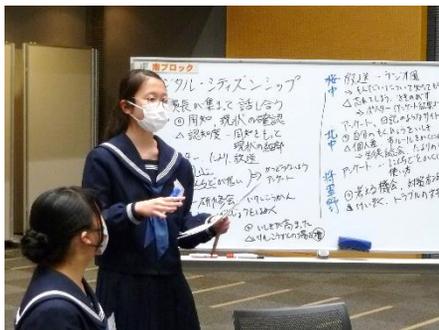
2 心理面への影響

- ・デジタルストレス
- ・依存症 等



中学生サミットの取組
～「デジタルネイティブ宣言」の実践～

中学校の生徒会代表が集まり、「デジタルネイティブ宣言」を活用した各校の実践について話し合いました。



- ・ A 中学校：全校生徒が、「デジタルネイティブ宣言」の4つの項目から1つを選び、自分が行う具体的な内容を考え、実践しています。
- ・ B 中学校：主体的にICTを活用できるよう、生徒一人ひとりが、ICTを利用する際の利用時間や条件等を設定しました。
- ・ C 中学校：SNSとの上手な関わり方について、小学生と中学生が自作の寸劇を通して、一緒に考える機会を設けました。

【デジタル・シティズンシップ】

「主体的かつ責任をもってICTを活用し、よりよい社会をつくるために行動する力」のこです。

デジタル・シティズンシップについては、R4、R5年度の啓発資料に詳しく掲載しています。

右の二次元コードから参照ください。

